

# 令和6年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 7

令和6年7月30日  
糸魚川農業普及指導センター

## 1 7月30日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

田植日・調査ほ場	草丈	茎数	葉色
田植日 5月3～21日 東海、西川原、東中、榎	並	やや少～並	並～やや濃

- 田植えの早いほ場では、出穂期を迎えています。
- 葉色は2回目の穂肥や必要に応じた3回目の穂肥、全量基肥体系における追加穂肥等により持ち直し傾向ですが、一部ではやや淡いほ場も見受けられます。
- 調査ほ場の出穂期は以下のとおりです。

表 調査ほ場ごとの出穂期（田植え時期は下段調査結果表参照）

調査ほ場（地区名）	出穂期	調査ほ場（地区名）	出穂期
東海（早川地区）	7月28日	東中（根知地区）	8月7日（見込み）
西川原（今井地区）	8月4日（見込み）	榎（能生地区）	8月4日（見込み）

## 2 今後の管理について

- 最新の1か月予報によると、今後1か月はかなりの高温で推移すると予想されています。後期栄養の確保（穂肥）と水管理がとて重要となります。
- 2回目の穂肥を施用した後も葉色が淡いままの場合は3回目の穂肥を施用してください（めやす：SPAD値で33未満の場合、出穂期直前（走り穂）頃までに窒素成分で10a当たり1kg（例 越後の輝き有機50穂肥で8kg/10a））。
- 全量基肥（元肥一発）体系でも、葉色が淡い場合は出穂期直前（走り穂）頃までに窒素成分で10a当たり1kg施用しましょう。
- 穂肥は浅水に湛水して施用しましょう。施用後は飽水管理を継続します。
- フェーン現象の発生が予想される場合、あらかじめかん水し、ほ場を湛水状態にしましょう（水深3cm以上）。また、可能であればかん水は夕方に行ってください。

## 3 7月30日のコシヒカリ生育調査結果

調査項目		ほ場所 （田植日）	指標値 ※	東海 （5月3日）	西川原 （5月15日）	東中 （5月21日）	榎 （5月12日）
草丈	本年値（cm）		90	101	90	95	94
	平年比（%）			105	98	108	102
	指標比（%）			-	100	106	104
茎数	茎数（本/m <sup>2</sup> ）		370	337	397	362	353
	平年比（%）			84	107	83	98
	指標比（%）			91	107	98	95
葉数	本年値（葉）		12.8	13.0	14.3	13.4	13.9
	平年差（葉）			-0.2	+1.0	+0.4	+0.8
	指標差（葉）			+0.2	+1.5	+0.6	+1.1
葉色	本年値（SPAD値）		32.0	33.0	29.6	36.1	34.2
	平年差（SPAD値）			+0.8	-4.0	+4.5	-0.4
	指標差（SPAD値）			+1.0	-2.4	+4.1	+2.2

※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差